

暑い夏休みでした

暑さを熱さに替えてがんばりました



濁川中だより

令和5年
8月30日
第5号

2年生職場体験学習 7月26日(水)・27日(木)

それぞれの職場で、そこに行かなければ学べないことをたくさん吸収してきました。今回は1人で職場に行った生徒もいました。「自分で考えて行動すること」がねらいでした。職場の方から寄せられた感想です。

・一人で心細かったと思いますが、職員の説明をしっかりと聞いて真面目に落ち着いて活動できていました。

・疑問に思ったこと、興味を持ったことに対して積極的に質問していただきました。

・献血広報活動の一環で出演いただいたラジオの生放送では、「自分の意志をもったコメントによる県民への呼びかけ」で我々を驚かせるものがありました。我々の方が学ばせていただくことが多くあり、感謝しています。

・素直で返事もよく、頼もしさを感じました。

・2日間忙しく、あまり側で教えることができず心配していましたが、自分でできることを考え、周りを見ながら自発的によく働いてくれてとても感心いたしました。



第32回新潟市英語発表会 8月18日(金)

3年生が出場しました。タイトルは「**The Best Stationary**」。

堂々とした発表でした。豊かな表現力で会場では笑いが起きました。8月25日(金)の全校朝会では、全校生徒に向けて発表しました。

要約

私たちが毎日使う文房具。機械化が進む今でも、手書きは必要です。あなたは文房具が好きですか？書くことは好きですか？文房具が好きになることで、学校生活がより楽しくなりました。皆さんも自分のお気に入りを見つけたらどうですか？



濁川中学校
ホームページ



<https://blog.city-niigata.ed.jp/nigorikawa/>

学校だよりや日々の学校生活を載せています。ぜひご覧ください。

1年生8名 つくし野祭りのボランティア活動に参加 8月5日(土)

つくし野自治会長様より、お礼のお手紙をいただきました。一部を紹介します。

「長時間に亘り、作業の内容を理解し、指示を待たずに自主的に行動しておりました。このことは、地域と中学校の絆を更に強くするものであり、生徒諸君には貴重な経験であったことかと思えます。」

指示されたから、人に言われたからではなく、自分が何をすればいいのかを考えて行動できたということが素晴らしいです。



夏休みは学び時 教職員も学びました

授業検討会

学校アンケートをもとに7月までの学校生活を振り返りました。互いの授業について意見交換を行いました。どのように対話活動を取り入れていくか、生徒が主体的に学ぶためには、どのような準備が必要かなど、教科を超えて話し合いました。

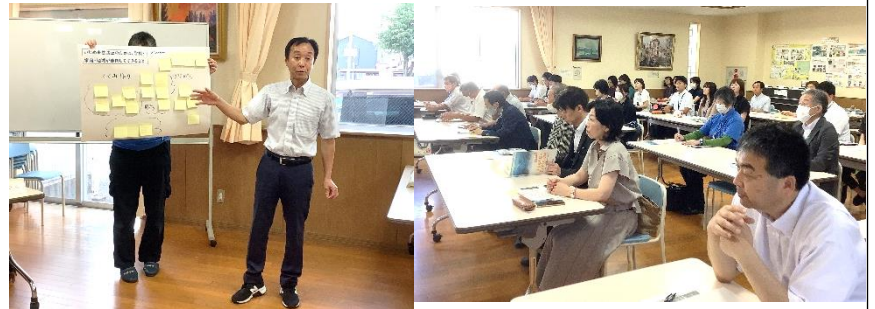


小中学校合同研修会

7月31日（月）と8月1日（火）の2日間にわたり、濁川小学校の先生方と合同で研修を行いました。

1日目は、下関市立大学教授、中林浩子様より、「学びのユニバーサルデザイン」について研修を行いました。

2日目は、新潟市立白南中学校校長、和泉哲章様を講師に迎え、「新潟水俣病が教えてくれたもの」と題した講演会を行いました。小学校の先生方からは、中学校とは別の視点からの意見が聞かれ、研修が深まりました。



救急法講習会

8月23日（水）、新潟 PUSH 様をお招きして、心肺蘇生法の講習を受けました。「いざ」という時に落ち着いて行動できるよう、AED の使い方を実際に体験しました。



体育祭に向けて 応援活動、パネル活動も再開です

25日（金）の全校朝会は武田校長先生から、慶応高校と広陵高校野球部についてのお話がありました。

両校に共通しているのは、「常識を疑い非常識を覆した学校」ということです。前例にとらわれず、自分たちでしっかり考え、話し合い、判断したことが常識を疑い、当たり前を覆したのです。

今、自分が置かれている状況をしっかりとつかみ、どうすることがよいかを考え、判断し行動することは、これから生きていく中で何より大切な力です。

今年度体育祭のスローガン「MAKING A NEW 濁中」のもと、昨年とも違う、今年度のこのメンバーでの体育祭を実現してください。

